

令和2年
(2020年)
8月15日
No.143

ふくおか 市議会だより

目 次

- ◆定例会のあらましなど…1面
- ◆一般質問…2面 ◆常任委員会の動きなど…4面



福岡市植物園の「サガリバナ」

※夜から咲き始めて翌日の朝には落ちてしまうため、夜の動植物園でしか見ることのできない花です。

夜の動植物園は、8月の毎週土曜日と9月の1・2週目の土曜日に開催され、

開園時間が午後9時まで延長となります。



- 福岡市拠点文化施設条例案を可決
- 新型コロナウイルス感染症対策のための一般会計補正予算案を可決

令和2年第4回福岡市議会
(6月定例会)

6/15
↓
6/23

定例会のあらまし

令和2年第4回福岡市議会(6月定例会)が6月15日から6月23日まで開かれました。

この定例会では、市長から提出された議案20件が審議され、全て原案通り可決・承認・同意されました。

このほか、議員提出の「医療機関への更なる経営支援を求める意見書案」も可決されました。(4面に連記事)

主な議案の内容は次の通りです。

- 新型コロナウイルス感染症対策のための一般会計補正予算 (議案第128号)

補正の総額は、60億603万1千円(増額)です。主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策として、ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給や学習支援のための学習指導員の派遣などを行うものです。

〈全員賛成〉

維持管理・運営をPFI事業で行うに当たり、契約を締結するとともに、施設等の管理を行わせる指定管理者を指定するものです。

〈賛成多数〉

- 福岡市介護保険条例の一部改正 (議案第131号)

新型コロナウイルス感染症の影響により主たる生計維持者の収入の減少が見込まれる者等に対する介護保険料の減免について、所要の改正を行うものです。

〈全員賛成〉

- 拠点文化施設の設置 (議案第130号)

舞台芸術の公演や市民の文化芸術活動等の場を提供することで、文化芸術の振興と交流の促進を図るため、大ホール、中ホール、文化活動・交流ホール等のある拠点文化施設を中心区天神五丁目に設置するものです。(令和6年3月供用開始予定)

〈賛成多数〉

- 拠点文化施設整備および須崎公園再整備事業に係る契約の締結 (議案第136号)

拠点文化施設および須崎公園の整備と拠点文化施設整備および須崎公園再整備事業に係る契約の締結

- 拠点文化施設等に係る指定管理者の指定 (議案第135号)

拠点文化施設および須崎公園の整備と

右の議案のうち、議案第130号に対しても、議案第135号・第136号に対しても日本共産党福岡市議団および緑と市民ネットワークの会から、議案第135号・第136号に対しても日本共産党福岡市議団、緑と市民ネットワークの会および無所属議員1人からそれぞれ反対討論が行われました。

定例会の日程

6/15	本会議	●議案(提案理由説明・質疑・常任委員会付託)
6/16~18	本会議	●一般質問
6/19~22	常任委員会	●議案審査等
6/23	本会議	●議案(常任委員会委員長報告・討論・採決) ●意見書案の採決

一般質問

6月16日、17日、18日の3日間にわたって一般質問が行われました。一般質問とは市政全般について市当局の考え方などを聞くもので、26人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。

会派名は略称です。(正式名称は欄外参照)



特別定額給付金の支給遅れはすさんな委託契約が原因ではな

10万円の特別定額給付金は、6月半ばの現在でもまだ大半の世帯に届いていない。仕様書に給付期限も示さないまま、すさんな委託契約を結んだことが異常な遅れを生み出している根源ではないか、所見を問う。

特別定額給付金事業について

ては、業務委託契約に基づき、本市と委託事業者間で、適宜協議、調整を行いながら適切に事業の進捗を図つており、概ね予定期通りのスケジュール管理ができるるものと考えている。

市役所の新しい働き方を

市役所もオンライン会議などグローバルな対応も必要だが、フェーストゥフェースが大事な仕事もある。そこで、新しい生活様式を踏まえた新しい働き方にに対する市長の所見を問う。

新しい生活様式を踏まえた

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、新しい働き方の実践が求められている。本市においては、オンライン会議などICTの活用をこれまで以上に推進するとともに、テレワークなどの多様な働き方にについて検討していく。

自衛隊への名簿提供に当たり十分な説明や周知をすべき

自衛隊への名簿提供に当たり、市は対象者に権利利益を侵害する恐れがないことを説明する責任がある。個人情報保護審議会の答申を踏まえて、十分な説明、周知をしたと考えているのか。

自治会・町内会の位置付けを明確化した条例を制定すべきと考

本市はさまざまな場面で市民との共働を理念として挙げているが、他都市では条例として明文化しているところもある。自治会・町内会の位置付けを明確化した条例を制定すべきと考えるが所見を問う。

自治会・町内会の位置付けを明確化した条例の制定を

本年度から外部検討委員会を設置し、条例なども含め、自治会・町内会の位置付けの明確化や新たな支援策について検討していく。

災害時の避難所における感染症対策を

くない対象者について、提供する情報からの除外申請を受け付けるとともに、個人情報の適正な管理の徹底について自衛隊と協定を締結しており、個人の権利利益の侵害に当たることはない。

幼稚園の送迎用駐車場の課税の見直しを

に確保された園地から離れた送迎用駐車場への固定資産税などの課税について、保育所と取り扱いに差があるため、これまでの方針を見直してほしいが所見を問う。

幼稚園の園児の安全のため

に確保された園地から離れた送迎用駐車場への固定資産税などの課税について、保育所と取り扱いに差があるため、これまでの方針を見直してほしいが所見を問う。

指定管理施設の従業員の雇用を維持すべき

本市の指定管理施設において、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減で苦しむ人や、やむなく退職する事例が起つている。今後、協定締結時の内容を見直し、モニタリング時

学校のエレベーターや肢体不自由特別支援学級の増設を

障がいがあつても、希望する場合は居住する地域校区へ就学ができるよう必要な環境整備などを進めることは重要である。今後の学校へのエレベーター設置と肢体不自由特別支援学級の増設に向けた方針を尋ねる。

休校後の学校の対応について

休校後の学校の対応については、保護者や地域に対しても適切に情報を提供するとともに、再開までの期間について、今後、目安となる期間を示せるよう検討していく。

児童生徒等に新型コロナウイルスへの感染が確認された場合、休校となる期間などが示されておらず、保護者や地域は不安に思うのではないか。休校後どのように対応を取るか、あらかじめ知らせておくべきと考えるが所見を問う。

休校後の学校の対応について

児童生徒が生涯を通じて健

えらが所見を問う。

児童生徒等に新型コロナウイルスへの感染が確認された場合、休校となる期間などが示されておらず、保護者や地域は不安に思うのではないか。休校後どのように対応を取るか、あらかじめ知らせておくべきと考えるが所見を問う。

歯磨き指導を実施すべきと考

康で豊かに過ごすために、歯や口の健康は極めて重要なことである。引き続き、学校歯科医会などと十分に協議しながら、歯磨き指導の充実と実施校の拡大に取り組んでいく。

歯磨き指導を実施すべきと考

児童生徒が生涯を通じて健

えらが所見を問う。

歯磨き指導を実施すべきと考

康で豊かに過ごすために、歯や口の健康は極めて重要なことである。引き続き、学校歯科医会などと十分に協議しながら、歯磨き指導の充実と実施校の拡大に取り組んでいく。

<p

認可保育所公募における
選定の透明化を
無所属

認可保育所の公募において
選定の透明化が不十分と考
える。もう少し、点数や評価項目
を公表すべきである。しっかりと
選定の過程や理由を公表するなど
工夫をすべきと考えるが所見を問
う。

答 事業者の選定に当たっては
地域ごとに評価を行つてい
るが、市民や地域・事業者に正しく
理解してもらうことは重要である
と考えており、今後も保育の質の
向上に向けて、選定結果の公表の
在り方は、より一層工夫したい。

子どもたちが安心して学校
生活を送るために取り組みを

無所属

支援体制と取り組みを尋ねる。
専門的な知識や経験を有す
る、えがお館の里親対応専
門員が、里親からの相談や悩みな
どに対応している。また、里親サ
ロンや研修会の開催、里親の休息
を保障するレスバイト事業などを
実施している。

答 女性の新規就農者に対する
支援を

市民ク

女性の視点やアイデアを生
かした農業を推進するため
に、女性の新規就農者や経営者を
増やす施策に力を入れるべきであ
る。農業にチャレンジしようとす
る女性をさまざまな角度から応援
してほしいが所見を問う。

答 本市の農業従事者の約半数
が女性で、農業の担い手と
して重要な役割を果たしており、
6次産業化の担い手としても大き
く期待されている。今後さらに女
性の新規就農が促進されるように
ニーズに応じた支援に努める。

公明

成年後見利用支援制度の
対象拡大を

PRするなど、本市の経済活性化
に向けた市長の所信を尋ねる。

答 感染症の拡大を防止しつ
つ、地域経済の活性化に取
り組んでいくために、国の動向を
的確に把握するとともに、今回の
地域経済を守るために、その役割を
しっかりと果たしていく。

公明

常時介護が必要な重度障が
い者の働きたいという気持
ちに寄り添い、就労機会の拡大を
図ることは重要と認識している。
国が新たに創設した同事業につい
ては、今後国が発出する通知など
を確認しながら検討していく。

答

※雇用施策との連携による重度障害
者等就労支援特別事業

企業が国の助成金を活用し、通勤
支援や職場等における支援を実施し
てもなお不足する部分について、市
町村の判断で重度訪問介護や同行援
護等と同等のサービスを提供するも
の。

てほしいが所見を問う。

答

本市の全所属に対して、市
民向けのチラシや各種行政
コードを掲載するよう依頼し
てほしいが所見を問う。

答

紙媒体に掲載された印刷情報をデジ
タル情報に変えるための二次元のバ
ーコード。このコードによって音声化する
ことができる。

答

新型コロナウイルス感染症
対策のため医師会との連携を
自民

障がい者グループホーム設置
補助金の要綱の見直しを

令和会

※音声コード



「福岡市特別定額給付金のご案内」
に印刷された音声コード

に連携していく。

答

地域外來・検査センターの
運営、新たな制度や症例等
の情報共有を引き続き行うとともに、
かかりつけ医の診療体制づ
くりなど、福岡市医師会との一層の
連携を図っていく。

自民

答

本市の全所属に對して、市
民向けのチラシや各種行政
コードを掲載するよう依頼し
てほしいが所見を問う。

答

※音声コード

に連携していく。

答

紙媒体に掲載された印刷情報をデジ
タル情報に変えるための二次元のバ
ーコード。このコードによって音声化する
ことができる。

答

新型コロナウイルス感染症
対策のため医師会との連携を
自民

社会的養護を担う里親家庭
へのサポート体制の充実を

無所属

本市では里親委託率の引き
上げを目標としているが、
最も大切なのは、行政と里親家庭
が連携して、児童の成育を支えて
いくための環境を充実させること
である。これまでの里親家庭への

箱崎地区の元寇防壁等の
保存・活用を

無所属

新しい生活様式が求められ
る状況に適応し、子どもの
安全と学びの保障を両立させた学
校づくりを進めていく。オンライン
学習のような新たな学びを通し
て、「やさしさとたくましさをも
ち、ともに学び未来を創り出す子
ども」の育成に努めていく。

九大箱崎キャンパス跡地内
でこれまでに発見された石
積み遺構は、令和2年3月に元寇
防壁として国史跡の指定を受けて
いる。当該地の防壁の活用につい
ては、保存と活用のバランスを考
えていくためにも、確実に事業化し

施設との連携による重度障害者等
就労支援特別事業」について、全
ての人が公平にその人らしく生き
ていくためにも、確実に事業化し

問

事業化を判断する「※雇用

自立支援のため事業実施を

令和会

事業化を判断する「※雇用

就業する重度障がい者への
自立支援のため事業実施を

令和会

事業化を判断する「※雇用

社会的養護を担う里親家庭
へのサポート体制の充実を

無所属

事業化を判断する「※雇用

特別委員会の動き

(5月21日～6月23日)

委員会名	案 件
議会改革調査特別委員会	○議会基本条例に関する調査 ○議会改革に関する調査 ・議場のＩＣＴ化について ・育児・介護を理由とした会議欠席等について

※常任委員会・特別委員会での審査状況の詳細については、毎月発行の議会月報に掲載しています。議会月報は総合図書館、各区の図書館、情報プラザ（市役所1階）などで閲覧できます。また、市議会ホームページの「会議録」にも掲載しています。（ホームページへの掲載には、約3ヶ月を要します。）

※常任委員会・特別委員会は傍聴することができます。（人数には限りがあります。）

元議員、古賀輝昭氏（85歳）が6月14日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

発行：福岡市議会
編集：議会事務局調査法制課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

電話 711-4749 FAX 733-5869

メール chosa.CCS@city.fukuoka.lg.jp

ふくおか市議会だより次号は、11月15日発行予定です。



6/15

福岡市議会は2月または3月、6月、9月、12月の年4回、定例会を開催しています。
今回の6月定例会の日程を例に、定例会の主な場面をご紹介します。

開会

議長が開会を宣告して本会議がスタート。
会議録署名議員の指名、諸報告の後、会期を決定します。

議案の説明と質疑

市長からそれぞれの議案を提出した理由の説明を受け、疑問点などについて議員が質問します。



議案を常任委員会に付託

提出された議案は、所管する常任委員会に付託されます。

常任委員会の動き

(5月21日～6月23日)

委員会名	案 件
総務財政委員会	「令和2年度福岡市一般会計補正予算案（第4号）」ほか1件の議案審査
教育こども委員会	「小学校校舎の取得について」ほか2件の議案審査
経済振興委員会	「福岡市拠点文化施設条例案」ほか4件の議案審査など
福祉都市委員会	「福岡市地区計画及び集落地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案」ほか8件の議案審査など
生活環境委員会	「はしご付消防ポンプ自動車の取得について」ほか2件の議案審査など

【問い合わせ先】議会事務局議事課（市役所議会棟8階）
電話 711-4746 FAX 733-5869

意見書

市議会は、国会や関係省庁などへ市民生活に関する問題について意見や要望を伝えるため、意見書を提出することができます。本定例会では1件の意見書案が可決されました。

要旨は次の通りです。全文は市議会ホームページの「会議結果」からご覧いただけます。

●医療機関へのさらなる経営支援を

<全員賛成>

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて、多くの医療機関の経営状態が悪化しています。国は新型コロナウイルス感染症の対策に係る令和2年度第2次補正予算において、医療従事者への慰労金を盛り込んだものの、医療機関の経営そのものへの支援については資金繰り支援の拡充にとどまっています。

よって、国が新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病院をはじめ、地域医療を担う診療所・病院等の経営を支援する給付制度を創設するとともに、基礎疾患を抱える患者に対する適切な受診勧奨に取り組むように要請するものです。

全国市議会議長会表彰

永年にわたり市政の発展に尽くした功績により、全国市議会議長会で次の議員が表彰され、6月15日の本会議において表彰状が伝達されました。

また、市長から感謝状が贈られました。

議員在職40年特別表彰

高山 博光

議員在職25年特別表彰

おばた 久弥

南原 茂

森 英鷹

もっと知りたい 議会のこと

定例会の流れ

6/15

6/23

福岡市議会は2月または3月、6月、9月、12月の年4回、定例会を開催しています。
今回の6月定例会の日程を例に、定例会の主な場面をご紹介します。

6/16～6/18

6/19・6/22

開会

議長が開会を宣告して本会議がスタート。
会議録署名議員の指名、諸報告の後、会期を決定します。

議案の説明と質疑

市長からそれぞれの議案を提出した理由の説明を受け、疑問点などについて議員が質問します。



市政について一般質問

市政について、議員が日頃の活動を通じて課題と感じていることなどを質問します。



常任委員会で審査

五つの常任委員会が開かれ、議案などについて、市の執行部に質問します。
具体的に審査した後、委員会としての意見をまとめます。

委員長報告・討論・採決閉会

常任委員会での審査結果を各委員長が報告します。

議会として議案の賛否などを決定するため賛成・反対の立場でそれぞれ討論を行った後、最後に採決を行い閉会します。



次の議会（定例会）は9月の予定です。日程は市役所・区役所・出張所・地下鉄駅構内のポスター、市議会ホームページやTwitterに掲載します。